

山武市子ども・子育て支援に関するアンケート調査結果報告書（案）

主なポイントまとめ

※国の重点施策は「こども未来戦略」（令和5年12月22日）の加速化プランより

（1）就学前児童の保護者調査

設問	該当 ページ	主なポイント（下線は特徴的なもの）	国の重点施策※
問5 回答者の配偶 関係	4	- ひとり親家庭（死別・離婚、元々いない、別居している）は、全体では10.0%、5歳では14.9%と上の年齢ほど高い割合となっています。 （参考）令和2年国勢調査の6歳未満世帯員のいる一般世帯における母子・父子世帯の割合10.2%	ひとり親の就労支援等を通じた自立促進や経済的支援等
問6 子育てを主に 行っている人	5	子育ての不安や負担感について、不安や負担を感じているほど「主に母親」との回答率が高くなっています。	退院直後の母子に対して心身のケアや育児のサポートなどを行い、産後も安心して子育てができる支援体制の確保を図る産後ケア事業の拡充
問9 お子さんをみ てもらえる親族・知 人の有無	6・7	ひとり親家庭では、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が57.1%と最も高くなっています。一方、<u>専業主婦（夫）家庭では「いずれもない」が18.5%と他の類型と比べて高くなっています。</u>	月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に利用できる新たな通園給付「こども誰でも通園制度（仮称）」の創設
問10 子育てに関し て、気軽な相談先の 有無	8	子育ての不安や負担感について、非常に不安や負担を感じるという場合は「いない／ない」が8.0%と比較的高くなっています。	妊娠期から出産・子育てまで、身近な場所で相談に応じ、多様なニーズに応じた支援につなぐ「伴走型相談支援」
問11 母親の現在の 就労状況	10	全体では、フルタイムの割合が43.4%、パート・アルバイト等の割合が29.6%。フルタイムの割合は、0歳で51.7%と最も高く、年齢が上がるほど割合が低下し、3歳を境に再び割合が上昇しています。	

設問	該当 ページ	主なポイント（ <u>下線は特徴的なもの</u> ）	国の重点施策※
問 13 「定期的に」 利用したいと考える 教育・保育の事業	20	● 「認定こども園」が 64.8%と最も高く、次いで「認可保育園」が 27.4%、「幼稚園」が 20.0%と続いています。	● 幼児教育・保育の質の向上 ～75 年ぶりの 配置基準改善と更なる処遇改善～
問 15 子育て支援セ ンター等の利用希望	24・25	● 0歳では「利用していないが、今後利用したい」が 31.7%、「すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい」が 16.7%となっており、概ね下の年齢ほど今後の利用希望や利用回数の増加希望の割合が高くなっています。	
問 16 市の事業の認 知度	26	● 認知度は、園庭開放（認定こども園・幼稚園・保育園）が 81.9%、子育て支援センターが 81.0%とこれらが上位2つで、次いで子育て世代包括支援センター（はぴねす）が<u>76.0%</u>と続いています。	
問 16 市の事業の利 用希望	28	● 利用希望率は、子育て支援センターが 37.4%と最も高く、次いで園庭開放（認定こども園・幼稚園・保育園）が 32.9%、子育て世代包括支援センター（はぴねす）が 32.6%と続いています。	
問 19-1 お子さんが 病気やけがで認定こ ども園・幼稚園・保育 園が利用できなかった 場合の対処	33・34	● 「母親が休んだ」が 68.3%と最も高く、次いで「父親が休んだ」、「親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった」が 24.4%と続いています。 ● 両親の就労状況がフルタイム×フルタイムの家庭では「父親が休んだ」が 39.6%となっています。	
問 19-2 病児・病後 児のための保育施設 等の利用希望	34	● 「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 44.2%となっています。	
問 21 一時預かり等 の利用希望	38	● 「利用する必要はない」、「無回答」を除いた利用希望率は 42.4%となっています。	● 【再掲】月一定時間までの利用可能枠の中 で、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に 利用できる新たな通園給付「こども誰でも 通園制度（仮称）」の創設
問 22 ショートステ イ（短期入所生活援 助事業）の利用希望	40	● 「利用する必要はない」、「無回答」を除いた利用希望率は 8.0%となっています。	

設問	該当 ページ	主なポイント（ <u>下線は特徴的なもの</u> ）	国の重点施策※
問 23 市で現在実施していない事業の利用希望	41	● 「ファミリー・サポート・センター事業」が16.5%、「児童育成支援拠点事業」が12.9%と続いています。 ● 子育ての不安や負担感について、非常に不安や負担を感じるという場合には「ファミリー・サポート・センター事業」の34.0%をはじめ、いずれの事業も比較的回答率が高くなっています。	
問 24 小学校低学年（1～3年生）時、放課後を過ごさせたい場所	42	● 「学童クラブ（学童保育）」が55.2%と最も高くなっています。 ● 前回調査（平成30年12月）と比べて、「学童クラブ（学童保育）」の割合が上昇しています（前回47.7%→55.2%）。	● 新・放課後子ども総合プランの着実な実施～「小1の壁」打破に向けた量・質の拡充～
問 27 育児休業の取得状況	46	● 育児休業取得率（「取得した（取得中である）」の割合）は、母親44.5%、父親10.7%となっています。また、フルタイム×フルタイムの家庭では取得率が75.2%となっています。 ● （参考）令和4年度雇用均等基本調査（厚生労働省）による育児休業取得率 女性80.2%、男性17.1%	● 男性育休の取得促進 ～「男性育休は当たり前」になる社会へ～
問 30 子育てに関する不安感や負担感	53	● 不安を感じている割合（「非常に不安や負担を感じる」、「なんとなく不安や負担を感じる」）は全体では51.3%で、いずれの年齢も50%前後となっています。 ● ひとり親家庭では不安を感じている割合が73.8%で、そのうち「非常に不安や負担を感じる」が23.8%と比較的高くなっています。	● 子育てに困難を抱える世帯やヤングケアラー等に対するプッシュ型・アウトリーチ型支援を強化するため、こども家庭センターの全国展開
問 31 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になること	54	● 「病気や発育・発達に関すること」が42.0%、「食事や栄養に関すること」が39.0%とこれらが上位2つで、次いで「子どもとの時間を十分にとれないこと」が30.9%と続いています。	
問 32-1 市の子育てに関する情報のメール配信の希望	56	● 「希望する」が48.5%となっています。 ● <u>前回調査で同回答は64.9%であり、希望率が低下しています。</u>	

設問	該当 ページ	主なポイント（下線は特徴的なもの）	国の重点施策※
問 33 市の子育て支援の中で良いと思うもの	58	● 「認定こども園」が 59.0%と最も高く、次いで「学童クラブ」が 41.1%、「子育て支援センター」が 39.7%と続いています。	
問 34 市の子育ての環境や支援の満足度	59	● 満足している割合（「大変満足している」、「まあ満足している」）は、全体では 63.5%。山武望洋中学校区では 69.0%と他の校区と比べて高く、成東東中学校区では 59.2%と比較的低くなっています。 ● ひとり親家庭では満足している割合が 59.6%と比較的低くなっています。 ● （参考）千葉県が実施した R5 子育てアンケートによると、1歳6か月児の保護者が、現在、子どもを育てている環境について「生み育てやすいと感じている」割合は 73.4%	
問 35 市に対して、充実を図ってほしい支援策	60	● 「<u>親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する</u>」が 68.7%、「<u>育児休業給付、児童手当、子ども医療費助成など、子育て世帯への経済的援助を拡充する</u>」が 64.8%とこれらが上位2つで、次いで「<u>小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する</u>」が 63.1%と続いています。	● 児童手当の抜本的拡充 ～全てのこどもの育ちを支える制度へ～ ● 出産等の経済的負担の軽減～妊娠期からの切れ目ない支援、出産費用の見える化と保険適用～ ● 医療費等の負担軽減 ～地方自治体の取組への支援～
問 36 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関する意見（要望）	62	● 「<u>公園や遊び場の不足</u>」に関する意見が最も多く、次いで「<u>子育てへの経済的な支援やサービスの充実</u>」に関する意見と続いています。	

(2) 小学生の保護者調査

設問	該当 ページ	主なポイント	国の重点施策※
問5 回答者の配偶 関係	64・65	ひとり親家庭(死別・離婚、元々いない、別居している)は、全体では11.6%、6年生では16.0%と最も高い割合となっています。	【再掲】ひとり親の就労支援等を通じた自立促進や経済的支援等
問6 子育てを主に 行っている人	65・66	就学前と同様に、子育ての不安や負担感について、不安や負担を感じているほど「主に母親」との回答率が高くなっています。	
問9 お子さんをみ てもらえる親族・知 人の有無	68	子育ての不安や負担感について、非常に不安や負担を感じるという場合は「いずれもない」が20.7%と比較的高くなっています。	
問10 子育てに関し て、気軽な相談先の 有無	70	子育ての不安や負担感について、非常に不安や負担を感じるという場合は「いない／ない」が13.8%と比較的高くなっています。	【再掲】妊娠期から出産・子育てまで、身近な場所で相談に応じ、多様なニーズに応じた支援につなぐ「伴走型相談支援」
問11 母親の現在の 就労状況	72	全体では、フルタイムの割合が38.7%と、就学前の保護者調査(43.4%)と比べて低く、パート・アルバイト等の割合が42.1%と、就学前(29.6%)よりも高くなっています。	
問12 お子さんの、 平日の放課後や休日 等の過ごし方	76・77	- ひとり親家庭では、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等)に行く」の割合が27.5%と、パートタイム×パートタイムを除いた他の類型と比べて低くなっています。 - 子育ての不安や負担感について、非常に不安や負担を感じるという場合は「保護者や祖父母等、家族親族等(大人)と過ごす」が58.6%と比較的低く、「家でひとりで過ごす」が20.7%と比較的高くなっています。	「こどもの居場所づくりに関する指針」に基づき、地方公共団体や民間団体における安定的で質の高い居場所の運営など、現場のニーズに応じた多様な居場所づくり
問13 学童クラブの 利用状況	78・79	全体では「利用している」が26.1%。概ね下の学年ほど学童クラブを「利用している」の割合が高く、1年生で36.5%、2年生で39.5%、3年生で27.5%となっています。	
問13-4 今後の学童 クラブの利用希望	81	現在学童クラブを利用していない保護者について、「利用したい」が10.2%となっています。	【再掲】新・放課後子ども総合プランの着実な実施～「小1の壁」打破に向けた量・質の拡充～

設問	該当 ページ	主なポイント（下線は特徴的なもの）	国の重点施策※
問 15-1 お子さんが 病気やけがで学校を 利用できなかった場 合の対処	84	● 「母親が休んだ」が75.2%と最も高く、次いで「父親が休んだ」が20.8%、「親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった」が18.5%と続いています。	
問 15-2 病児・病後 児のための保育施設 等の利用希望	85	● 「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が15.4%となっています。	
問 17 一時預かり等 の利用希望	88	● 「利用する必要はない」、「無回答」を除いた利用希望率は24.7%となっています。	
問 18 ショートステ イ（短期入所生活援 助事業）の利用希望	89	● 「利用する必要はない」、「無回答」を除いた利用希望率は6.3%となっています。	
問 19 市で現在実施 していない事業の利 用希望	90	● 「ファミリー・サポート・センター事業」が12.4%、「児童育成支援拠点事業」が10.5%と続いています。 ● 子育ての不安や負担感について、非常に不安や負担を感じるという場合では「子育て世帯訪問支援事業」、「児童育成支援拠点事業」の27.6%をはじめ、いずれの事業も比較的回答率が高くなっています。	
問 20 子育てに関す る不安感や負担感	91	● 全体では、不安を感じている割合（「非常に不安や負担を感じる」、「なんとなく不安や負担を感じる」）は43.9%と、就学前の保護者調査（51.3%）と比べると低くなっています。 ● ひとり親家庭では不安を感じている割合が62.8%で、そのうち「非常に不安や負担を感じる」が27.5%と比較的高くなっています。	● 【再掲】子育てに困難を抱える世帯やヤングケアラー等に対するプッシュ型・アウトリーチ型支援を強化するため、こども家庭センターの全国展開
問 21 子育てに関し て、日常悩んでいる こと、または気になる こと	92	● 「子どもの教育に関すること」が32.6%と最も高く、次いで「病気や発達・発達に関すること」が26.9%、「友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること」が26.3%と続いています。	

設問	該当 ページ	主なポイント（ <u>下線は特徴的なもの</u> ）	国の重点施策※
問 23-1 市の子育てに関する情報のメール配信の希望	96	● 「希望する」が40.8%となっています。 ● <u>前回調査で同回答は59.8%であり、希望率が低下しています。</u>	
問 24 市の子育て支援の中で良いと思うもの	97	● 「認定こども園」が46.0%、「学童クラブ」が45.0%とこれらが上位2つで、次いで「<u>図書館等の施設</u>」が44.2%と続いています。	
問 25 市の子育ての環境や支援の満足度	98	● 満足している割合（「大変満足している」、「まあ満足している」）は、全体では55.3%と、就学前の保護者調査（63.5%）と比べると低くなっています。 ● 満足している割合は、山武中学校区の61.0%、山武望洋中学校区の59.4%に対して、成東中学校区では52.0%、成東東中学校区では51.4%と比較的低くなっています。	
問 26 市に対して、充実を図ってほしい支援策	98・99	● 「<u>親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する</u>」が61.9%、「<u>小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する</u>」が59.5%とこれらが上位2つで、次いで「<u>育児休業給付、児童手当、子ども医療費助成など、子育て世帯への経済的援助を拡充する</u>」が56.8%と続いています。	● 【再掲】児童手当の抜本的拡充 ～全てのこどもの育ちを支える制度へ～ ● 【再掲】医療費等の負担軽減 ～地方自治体の取組への支援～
問 36 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関する意見（要望）	101	● 「<u>公園や遊び場の増設希望</u>」に関する意見が最も多く、就学前の保護者調査と同様に、公園や遊び場に関するものが多いとなっています。次いで「<u>給食や学童クラブの無償化希望</u>」に関する意見と続いています。	